



# アーキビスト課程

## アーカイブズ実習を受講して



アーカイブズ実習では実物の資料を用いて、資料番号の付与、資料概要の記述、資料撮影を行い、ネット上での資料公開を行いました。

これらの一連の作業では資料の取り扱い、崩し字のある程度の読み取りの技術などが必要になると改めて感じました。また資料の状態によって臨機応変に対応する能力が必要であると感じました。

資料に直接触れ、作業することはとても緊張しました。しかし直接資料に触れ、資料に何が書かれているのか読み解くことで、当時の人たちがどのような生活を送ってきたのか、どのような出来事があったのかなど、資料そのものだけでなく、その資料の背景に興味を持つことができました。

研究などでは資料に書かれた文章に興味関心が持たれがちですが、その資料がどのような背景で書かれ、受け継がれ、現代にまで残ってきたのか、そしてそれらをどのように後世に残していくのかということを改めて学ぶことができました。 生活文化研究専攻 1年 (米山雪絵)

## 実物資料を用いた実習

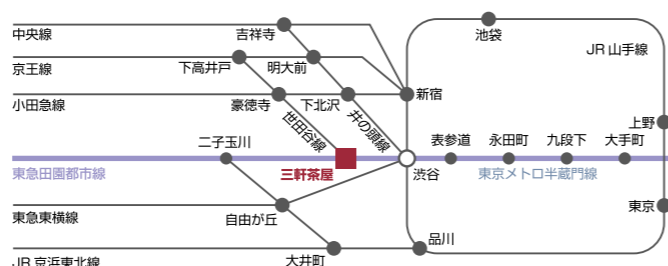
アーキビスト課程では、実際に江戸～明治期の人々が遺した古文書や行政文書を用いて、資料整理から目録作成、保存措置、デジタル化、webでの公開(データベースの構築)までを行います。

アーキビストに求められる知識や技能を実践的に学ぶことができます。



● **交通アクセス** 所在地: 東京都世田谷区太子堂1-7-57

東急田園都市線◎三軒茶屋駅(渋谷から3分)下車徒歩7分



お問い合わせ

昭和女子大学  
人間文化学部歴史文化学科

Email: rekibun@swu.ac.jp(野口・湯上・三野)

[入試に関するお問い合わせ: アドミッションセンター]


☎ 0120-5171-86

TEL: 03-3411-5154 Email: spass@swu.ac.jp


必ず「2024年度 昭和女子大学入試要項」とあわせてご覧ください。



ヨーロッパで公文書を学ぶ

アーカイブズ学を  
基礎から学べる  
はじめての女子大学



昭和女子大学認定  
アーキビスト(2級)  
取得



MLAに関わる  
資格も併せて  
取得可能



実物の資料を  
使った実習

### アーキビスト課程で学べること

- ・アーカイブズ学の基礎
- ・考古学・民俗学・美術史などさまざまな学問とアーカイブズとの関わり
- ・日本や世界のアーカイブズについて
- ・古文書や歴史資料の読解
- ・実物の江戸・明治期のアーカイブズ資料を用いた実習
- ・データベース・目録・デジタルアーカイブの作成方法
- ・図書館司書・博物館学芸員など多くの関連資格の取得が可能



# 歴史文化学科 アーキビスト課程

全国の女子大学で初めての、『アーキビスト』について本格的に学べる課程。



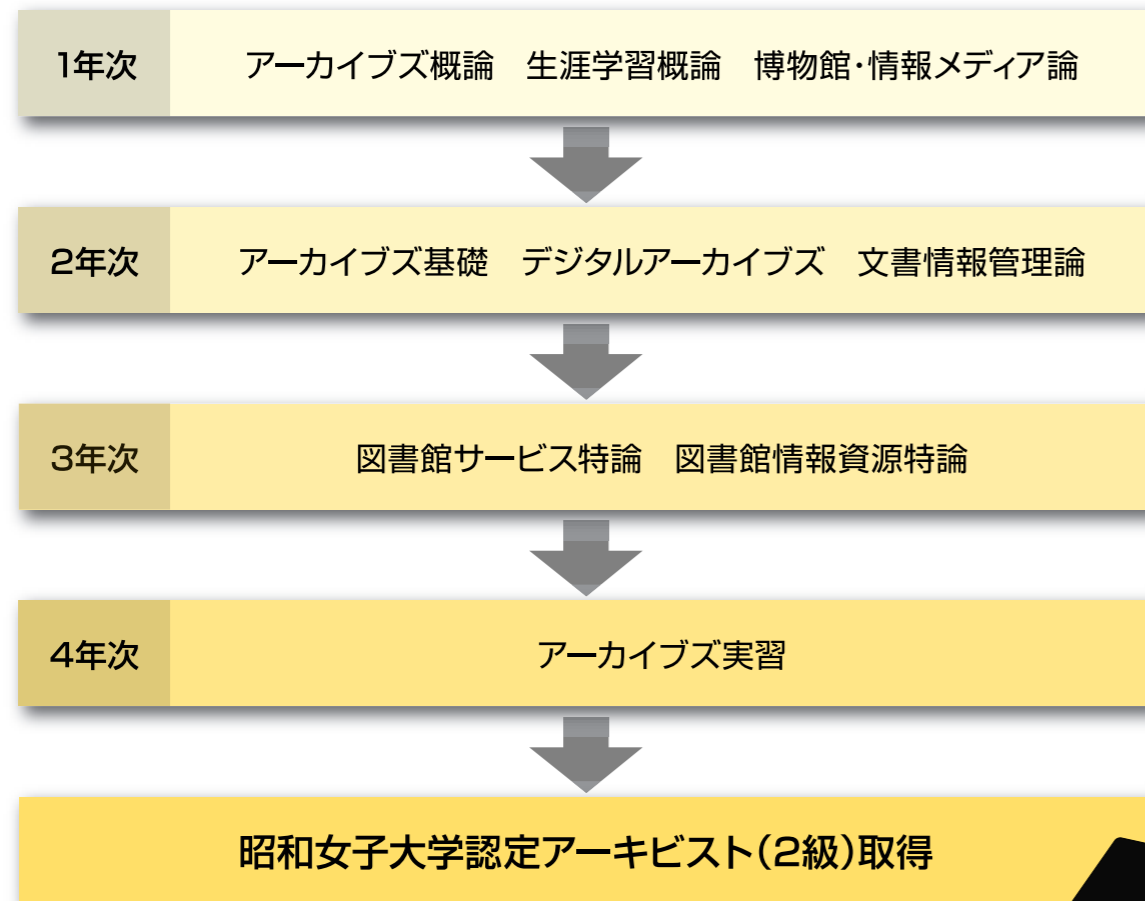
## 1

### アーキビストとは 記録を残し、伝える仕事

アーキビストとは、公的機関をはじめ、民間企業などさまざまな組織や集団が作成した公文書や文書記録について、収集・整理・分類・管理・保存すべきかどうか評価・選別を行い、残すべき資料の公開や活用までを担う専門職です。これまで専門資格がありませんでしたが、2021年1月から、国立公文書館が「認証アーキビスト」を認定する制度を開始しました。アーキビストは国立公文書館をはじめ、全国の自治体が設置している公文書館や歴史資料館、博物館、図書館、さらに公務員や民間企業での活躍が期待されます。



#### ●「昭和女子大学認定アーキビスト(2級)」取得までのイメージ



## 2

### アーキビスト課程の特長

- 1 昭和女子大学アーキビスト課程は、女子大学の学部では日本では初めての、アーカイブズ学をしっかりと学べる課程です。基礎から実習まで、多様な科目群でアーカイブズについて学びます。
- 2 アーキビスト課程の単位を取得することで、昭和女子大学認定アーキビスト(2級)の資格を取得することができます。
- 3 日本史・東洋史・世界史をはじめ、考古学・民俗学・美術史・芸能史・文化財科学など、アーキビストの仕事に関わるさまざまな学問分野を学ぶことができます。
- 4 ヨーロッパ歴史文化演習Bではイタリアなどの文書館で専門家の講義を受けることができます。
- 5 アーカイブズ実習では、実物の江戸・明治期のアーカイブズ資料を用いて実習を行い、資料整理・目録作成・デジタル化・webでの公開を行います。
- 6 図書館司書・博物館学芸員など多くの関連資格の取得が可能です。

## 3

### MLAに関わるさまざまな資格を取得できます

地域に遺された文化遺産を守り伝えていくためには、公文書館 (Archives) に加えて、図書館 (Library)、博物館 (Museum) の連携が重要です。このことを担う専門職が、博物館学芸員・図書館司書、そしてアーキビストです。歴史文化学科では、アーキビストに加えて、学芸員、司書、さらに関連するさまざまな資格の取得が可能です。これらの資格を合わせて取得することで、MLA 連携に関わるキャリアが期待できます。

**【取得できる資格】**  
歴史文化学科では下記の資格を取得することができます。

学芸員／考古調査士(2級)／高等学校教諭一種(地理・歴史、公民)／中学校教諭一種(社会)／図書館司書・司書教諭／文書情報管理士(2級)／昭和女子大学認定アーキビスト(2級)／日本語教員(大学認定証)／社会福祉主事(任用資格※)

※任用資格とは公務員に採用された後、特定の業務に任用されるのに必要な資格です。

